

事業名：豊幌駅舎共同管理経費（補助金）

政策推進課 参事（住環境活性化・公共交通）

政策	04 安全で快適な都市生活の充実								
施策	02 交通環境の充実								
基本事業	03 移動交通手段の充実								
開始年度	昭和59年度	終了年度	—	実施計画 事業認定	非対象	会計区分	一般会計	補助金	政策的補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
豊幌地区の自治会	
手段（事務事業の内容、やり方）	
「豊幌駅業務運営費補助要綱」に基づき、豊幌両自治会連絡協議会に対し、駅業務運営に係る補助を実施し、自治会による駅舎管理を支援する。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
豊幌駅に管理人が配置されることにより、利用者の利便性、安全性を確保する。	

指標・事業費の推移						
区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標 1	豊幌地区の自治会数	自治会	2	2	2	—
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	550	550	550	550
活動指標 2						
成果指標 1	豊幌駅の利用に関する苦情件数	件	0	0	0	0
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	550	550	550	550
正職員人件費 (B)		千円	803	802	781	782
総事業費 (A + B)		千円	1,353	1,352	1,331	1,332

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	駅業務運営に対し補助金を支出	駅業務運営への補助金 550千円

事業を取り巻く環境変化	
事業開始背景	
昭和59年の無人化に伴い、江別市と地元自治会で補助金を交付し管理人を置くこととなった。	
事業を取り巻く環境変化	
<ul style="list-style-type: none"> ・市の補助金は平成13年度に510千円から550千円に増額している。 ・18年度にはプラットホームに屋根付きの待合所が数箇所設置され、利便性の向上が図られた。 	

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
妥当である 妥当性が低い	理由 根拠
江別市が補助金を交付することにより、無人駅に管理人が配置され、利用者は安心して駅を利用することができる。また、JRからは管理委託料が払われており、自治会も一部運営費を負担しているなど、市民協働の事業であり、市も補助金を交付することは妥当である。	
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
貢献度大きい 貢献度ふつう 貢献度小さい 基礎的事務事業	理由 根拠
補助金を交付することにより、継続的に管理人を置くことができ、駅舎の利便性が確保されており、貢献している。	
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
上がっている どちらかといえば上がっている 上がらない	理由 根拠
駅舎の管理人を継続的に確保できており、それにより利用者が安心して利用できる状態になっている。	
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小・なし	理由 根拠
駅舎の管理については、JR北海道と自治会との契約が主体であり、利用者が安心して利用できるよう現在の状況を維持する。	
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありますか？	
ある なし	理由 根拠
補助金の減額は管理人の継続確保に支障を来たず可能性が高い。	